

## 令和 5 年度職員褒賞（知事褒賞）の概要

### 【個人等】

番号	功 績	所属・職・氏名	業 績 の 内 容
1	生成AI 利用システム「CatBot」の開発の功績	情報システム課 専門監（情報）（兼）専門補佐 二宮幸俊	<p>文章生成 AI である ChatGPT サービスを庁内で容易に利用できるようにするシステム「CatBot」を開発し、職員が文章生成 AI を容易に活用できるようにした。本システムには、「庁内 QA 機能」や「長文要約機能」といった独自の有用な機能も搭載されている。</p> <p>現状では、全国都道府県において、同様の本格的なシステムを職員開発により整備しているところはなく、令和 5 年 11 月開催の全国知事会「生成 AI 利活用ワーキングチーム」会議でも先進事例として本システムの紹介を行ったところである。</p> <p>生成 AI の利活用には、職員の能力の引上げや業務の効率化等様々な効果が期待されており、その功績は大きい。</p>
2	豊かな海を目指す「香川県栄養塩類管理計画」策定の功績	環境管理課 課長補佐 山下彰子 主任 藤澤 茜 水産課 課長補佐 藤原宗弘 主任 益井敏光 下水道課 課長補佐 柳原昭人 副主幹 森 親哉 主任 氏家宏貴	<p>瀬戸内海では、ノリの色落ち等の原因となる栄養塩類の不足が課題であり、令和 3 年 6 月の瀬戸内海環境保全特別措置法の改正により、知事が計画を策定すれば、特定の海域への栄養塩類供給が可能となる制度が導入された。栄養塩類と水産資源の関係は未解明の部分があり、地球温暖化など他の影響要因もあるため、兵庫県を除き各府県とも様子見の状況であったが、本県では、環境、水産、下水道の 3 者が庁内で強力なスクラムを組んで計画を策定した。</p> <p>豊かな海づくりを推進するため、率先して計画策定に取り組み、各方面の関係者と協議・調整しながら計画をまとめ上げた功績は大きい。</p>
3	妊娠・子育てに伴う経済的負担の軽減を実現した功績	子ども家庭課 課長補佐 大橋育代 (現 健康福祉総務課 主幹（兼）課長補佐)	<p>令和 4 年 4 月から不妊治療が保険適用されたことに伴い、自己負担額が保険適用前の助成制度時の負担を上回るケースが生じることとなった。これを受け、自己負担額の軽減を行う市町への補助制度を令和 4 年 11 月の補正予算において創設し、不妊治療を受けやすい環境整備に尽力した。</p> <p>また、子ども医療費について、令和 5 年度から県として市町の医療費の負担軽減を図る水準として、小学 3 年生まで引き上げるとともに、所得制限を廃止した。このことも契機に、令和 5 年 8 月から県内全域で高校生までの医療費無償化が実現した。</p> <p>いずれの施策も全国的に早期の取り組みであり、市町との調整に努め、市町と協調して妊娠や子育てに伴う経済的負担の軽減を実現した功績は大きい。</p>

番号	功 績	所属・職・氏名	業 績 の 内 容
4	障害者芸術のデザインを活かした商品開発に関する協創の功績	障害福祉課 課長補佐 渡邊智子 課長補佐 喜多知里 主任 久保卓也 主任主事 出田菜々子	<p>これまで別々に行っていた、障害者芸術の普及に向けた取組みと、障害者の就労支援・工賃向上に向けた取組みを掛け合わせて、障害者芸術で生まれた絵画作品等のデザインを、バッグなどの商品開発に活かす協創の取組みを新たに行った。</p> <p>障害者の芸術が商品化され、障害者芸術が多くの人目に触れることで、県民の障害理解を深める一助となるとともに、障害者の社会参加に資する取組みであり、障害を持つ方にとっては、自身の生み出した作品が芸術として評価されるという経験を通じて自信や意欲を高めることができた。</p> <p>異なる分野の協創により相乗効果を生み出したものであり、その功績は大きい。</p>
5	ひきこもり支援における効果的な支援体制の構築に係る功績	障害福祉課 主任技師 大島理子	<p>ひきこもり支援の課題として、ひきこもり支援のプラットフォーム機能を求められる市町の主体的事業展開の困難さや、県が養成するひきこもりサポーターの意欲が維持される活動の場の確保、また、ハードルの高いリアルな居場所への一歩手前の中間的な居場所がないことが指摘されてきていた。</p> <p>これを受け、全国団体の活動と協働する形で、市町担当者やひきこもりサポーターが主体的に参加できるよう活動に巻き込むとともに、ひきこもり状態から回復へ向けて半歩進めていく居場所として、オンライン居場所を開催するなど、ひきこもり支援の課題を克服し、支援が効果的に展開できるように支援体制を構築した功績は大きい。</p>
6	県産品海外販路開拓に係るグローバル企業との連携協定の功績	県産品振興課 主任 則包 篤志	<p>東アジアやアメリカに100を超える日本食材スーパーを展開する株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）とは、令和2年度に直接働きかけを行ったことが契機となり、取組みが始まった。その後、産地招聘や生産者を交えたオンライン商談、テスト輸送などを経て、同社のプライベートブランドに採用されるなど、シンガポールや香港において青果物を中心に輸出額が増加し、令和5年7月には同社と、県では初めてとなる海外輸出に係る連携協定の締結に至った。</p> <p>協定締結後には、香港の全店舗でオリーブハマチの販売が開始されており、今後も本県の輸出額増加につながるものと期待されることから、本連携協定締結の功績は大きい。</p>
7	「さぬきの夢2023」の開発の功績	農業試験場 主席研究員 三木哲弘 中讃農業改良普及センター 主任技師 小林美鈴	<p>「さぬきの夢2009」より、うどんのコシが強く、製麺適性に優れる小麦の新品種「さぬきの夢2023」を早期かつ効率的に育成した。</p> <p>本品種は、令和5年7月に品種登録出願を行い、同年10月に出願公表された。</p> <p>「さぬきの夢2023」の特性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さぬきの夢2009」より、タンパク質含有率が高く、タンパク質の一種であるグルテンについて、構造を保つ能力が高く、伸びや弾力性が高いため、うどんのコシが強い。</li> <li>・「さぬきの夢2009」より、一粒の重さが大きく、一定の体積に対して重量が大きい。</li> <li>・「さぬきの夢2009」の製麺時に麺が切れやすい、伸びやすいといった課題が改善されたことで、製麺の作業性が向上した。</li> </ul> <p>これらの特性から、県内の製麺業者等でより一層の利用増や需要拡大が期待され、「うどん県」としてのブランド力向上にもつながるため、その功績は大きい。</p>

【所属、団体等】

番号	功 績	所属・グループ名	業 績 の 内 容
8	「豊かな自然環境を生かした地域資源の活性化」の功績	地域資源活性化プロジェクトチーム 地域活力推進課 文化振興課 環境政策課 環境管理課 森林・林業政策課 みどり保全課 交流推進課 観光振興課 交通政策課 農業経営課 農村整備課	<p>地域資源活性化プロジェクトチームは、県内の魅力的な地域資源の中から、「自然」や「景観」、「公園」をキーワードに、それらを活用し、地域の魅力を高め、本県の「にぎわいづくり」を一層進めていくため、今年度、新たに立ち上げたプロジェクトである。</p> <p>「豊かな自然環境を生かした地域資源の活性化」に向け、資料収集や各種実態調査に基づく「にぎわいづくり」の方向性を決定するとともに、公淵森林公園、琴林公園、園芸総合センターについて、プロジェクトメンバー間が密に連携のうえ、活用方策を作成し、具体的な事業計画を取りまとめた功績は大きい。</p>
9	市町等と連携した森林整備の担い手育成・確保対策の功績	森林・林業政策課 企画政策グループ	<p>森林の持つ公益的機能を持続的に発揮していくためには、森林整備の担い手育成・確保が喫緊の課題となっている。そこで、令和4年3月に県、16市町（直島町除く）及び県森林組合連合会で構成する「かがわ森林整備担い手対策協議会」を設置して協議を重ね、令和6年4月からは、この協議会が主体となって森林環境譲与税も活用し、全県的に総合的な森林整備の担い手育成・確保対策に取り組むことができるようになった。</p> <p>本県の森林整備の推進と県産木材の供給・利用の促進に向け、森林整備の担い手育成・確保対策に全県的に取り組むことができる体制を築き上げた功績は大きい。</p>
10	「せとうち企業誘致100プラン」に基づく企業誘致の功績	企業立地推進課	<p>企業立地推進課では、企業誘致施策を取りまとめた「せとうち企業誘致100プラン」に基づき、若者にとって魅力のある情報通信関連産業の誘致に重点的に取り組んでおり、企業に寄り添ったきめ細やかな誘致活動を展開した結果、令和3年度、4年度それぞれ3件の実績があったところ、今年度は県外の情報通信関連企業9件の立地が決定し、過去に例のない飛躍的な成果につながった。</p> <p>迅速かつ丁寧な支援により県外より多くの企業の誘致を成功させ、地域経済の活性化につなげた功績は大きい。</p>

番号	功 績	所属・グループ名	業 績 の 内 容
1 1	G 7 香川・高松都市大臣会合の開催支援の功績	交流推進課 サミット関係会合推進室	<p>一昨年ドイツが初めて開催し、今回が2回目となる都市大臣会合であり、本県にとっては、平成28年開催の情報通信大臣会合に次ぐ、2回目となるサミット関係閣僚会合の開催支援等に大きな功績をあげた。会合では、「持続可能な都市の発展に向けた協働」をテーマに現在の都市が抱える問題について、関係各国の閣僚等による活発な議論が行われるとともに、本県の魅力を世界に向けて発信するなど、開催県として大変意義のある会合が成功裏に終了した。今後のMICE誘致を推進していくうえで功績は大きい。</p>
1 2	脳心連携チームで脳卒中循環器病患者の再発予防と健康寿命の延伸に取り組んだ功績	中央病院 脳心連携チーム	<p>脳卒中のなかでも最も重症化する心原性脳塞栓症は、その原因となっている心房細動を放置すると再発率が高いため、ただちに再発予防のための精査と治療が必要であるが、この二次予防対策は後回しにされがちなのが現状である。そこで、脳神経外科と循環器内科の診療連携を強化し、脳神経外科で治療した心原性塞栓症、あるいはその可能性が否定できない患者は、すべてすみやかに循環器内科に紹介し、二次予防のための精査と加療を行うシステムを構築した。</p> <p>体系的に連携を行うことにより「すばやく、もれなく、継ぎ目なく、全人的な」治療が可能となり、患者の確実な予後改善、ひいては、県民の健康増進と健康寿命の延伸につなげた功績は大きい。</p>
1 3	新型コロナウイルス感染症流行時における教育活動の継続に向けた取組みの功績	保健体育課 学校体育・保健グループ	<p>新型コロナウイルス感染症の流行時から、令和5年5月に感染症法上の分類が5類に引き下げられるまでの間、学校における児童生徒の学習の機会や質を確保するため、的確な情報収集に基づく速やかな対応を行い、感染拡大防止対策に取り組みつつ、授業や部活動等の実施についても適切に判断し、安全確保と教育活動の継続との両立に努めた。</p> <p>学校が一丸となって児童生徒を支えることを支援することにより、児童生徒の学習等への影響はもちろん、教育活動全体への影響を可能な限り低減させた功績は大きい。</p>